

Challenge News



GO TO THE NEXT!!

Contents

理事長、施設長挨拶	—————	P2
めいとく日和、facebook 特集	—————	P4
職員奮闘記	—————	P9

1年間をふりかえって

理事長 樺嶋 潤一郎

社会福祉法人明徳会は、平成15年10月に法人認可を受け平成17年4月にチャレンジめいとくの里を開所し、これまで多くの福祉サービス事業を展開してきました。私たちは、障がい者、児童、高齢者または社会的支援を必要とする方々と地域社会が手を取り合って暮らせる安らぎの福祉社会の実現に向けて日々活動しています。



平成29年度は、「GO TO THE NEXT ～進化しよう～」を合言葉に、施設におけるサービスの充実、或いは地域へのアプローチを図ってきました。

次のステージを見据えた福祉サービスという点では、日中活動や入所支援の場面でご利用者様一人ひとりの個別ニーズに応える支援が多くみられるようになりました。みんな公平というよりか、オーダーメイドの対応です、言い換えれば皆さんに対して特別扱いなのかもしれません。法人内の先駆的な取り組みとしてプロジェクトチームを設置し、「あなたの夢かなえます」企画やグループ活動では少人数あるいは個別の外出等を通して、THE NEXTの意識付けが出来き、実際少しずつではありますが動き始めているところです。また人材育成についても、特に新人職員の研修やフォロー体制もこれまでのチューター制度に加え充実させ、次は中堅や管理職クラスへのアプローチ改革に取り組みます。110名の職員全員が目標管理であるキャリアアップチャレンジシートを作成し面接を行う中でPDCAを実践しています、個々のレベルアップを結集して全体のサービスの質の向上を目指しております。

また、地域へのアプローチではケア・ハピネスの正門を常時開門できるように改修し、地域の皆さんがどなたでも利用できる広場、「かじおハピロバ」を新たに設置することができました。いろいろなイベントスペースとして、日常の運動や散歩コースとして利用していただき、ケア・ハピネスにあるRogCafeでご利用者様がいったおいしいコーヒーを飲んでいただけるようになっていきます。

さらに今年度は、熊本市障がい者サポート企業・団体として12月に認定を受けることができました。これは、障がい者法定雇用率達成、支援や権利擁護等の研修の実施、理解促進や啓発につながるイベントやセミナーの開催などが認められたものです。障がい者の暮らしや就労等を応援する企業・団体として、気持ちを新たにこれまで以上に取り組みを充実させ、社会福祉法人として積極的に活動していきたいと思えます。

今後も福祉制度の流れは速いとおもいますが、その中で地に足を付けたぶれない活動を行いながら、さらに先を見据えて当法人の理念である「安心・安全・安らぎの福祉社会創造にチャレンジ」を続けていきたいと思えます。





チャレンジめいとくの里 施設長 平川 貞俊

平成29年度も終わりを迎え、4月から平成30年度が始まろうとしています。毎年、年度末は1年間を振り返り、振り返りに基づいて次の年度に向けた目標を設定・目標達成のための具体的な計画作成の大切な時期となっています。

平成29年度は平成29年度明徳会運営ポリシーである「GO TO THE NEXT ～進化しよう～」を基に各職員が、目標と目標達成のための具体的な計画を立てて取り組んできました。このことについて自己評

評価や上司の評価を行い、それに基づいて、さらに来年度に向けて次の段階へとチャレンジしていきます。

各事業部の今年度の取組については、年度末に法人全体の内部研修会を開催し、全事業所の取組をポスター発表として、ご家族にもご案内をして開催しました。ご家族からの視点も私たちの次の段階へのチャレンジに活かしていきたいと考えています。本冊子の中で振り返りの記事を記載していますので、ぜひ、ご覧いただければと思います。

私自身も「安全・安心・安らぎの生活づくり」「季節感のある生活づくり」「ご利用者様・ご家族の高齢化への対応」「外部関係機関との連携」などを目標にあげ、取り組んできました。1年間を振り返ると、「基礎基本を大切にすること」「当たり前のことを当たり前にする」と疎かにしている自分の姿がありました。来年度、次のステージへ飛躍するためにも自分自身の足元をしっかりと固めていきたいと考えています。



ケア・ハピネス 施設長 松村 忠彦

安心・安全、安らぎを求めて、また地域に開かれた環境整備ができました。

ケア・ハピネスは、風光明媚で豊かな敷地に建設しましたが、市道東側の高台で、正門に向けて傾斜があり、歩行器や車椅子での移動に難があり、また車の出入りも危険性を感じていました。そこで建物南側に中塀を設置して、傾斜緩和と車両一方通路を実現しました。これで安心して安全にウォーキングできる環境になりました。

『ログカフェ』も、平成28年7月の相模原障害者施設殺傷事件で厚労省指導があり正門閉鎖になり、地域の皆様の足が遠のいていましたが、この整備のおかげで、少しずつ明るさを取り戻しています。

念願の『かじおハピロバ』が平成29年10月にスタートしました。地域名「梶尾」と「ハピネス」、「広場」を合体して、訪れた人がみんなハッピーになれるようにとの願いを込めた広場名です。水場、電源も準備しておりますので、使用の希望がございましたら、お気軽にケア・ハピネスまでお問い合わせください。休日も開放しています。是非『かじおハピロバ』へお越しください。





日中支援部全国大会で発表してきました

H29年12月12日(火)～13日(水)

平成29年度日中支援部会全国大会2日目の第一分科会「社会生活支援の実践～日々の活動における視点と工夫」というテーマで、私が所属しているゆめくらし事業所オレンジハウスに入居されている方の実践報告を発表させて頂きました。

今回の発表を通し、改めて社会生活支援の実践というものが極めて大切なことであるということを実感しました。これからもご利用者様方に地域で生活をしていることを実感して頂けるように、社会生活支援に取り組んでいきたいと思ひます。

とても貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



サービス管理責任者 中原 恵理香

1年間の思い出

Last year of memories ～めいとく日和、facebookより～

平成29年度の明徳会運営ポリシーである「GO TO THE NEXT ～進化しよう～」を念頭に、今年度もたくさんの取り組みを行いました。次ページより皆さんの活動の様子、活躍ぶりをふりかえっていきます。来年度もたくさんの取り組み、活躍が見られることが楽しみです。

日ごろの取り組みについては、フェイスブック、ブログ等で紹介していますので、ぜひ閲覧ください(^^)／

春

Spring



年度末職員研修 etc >>> P05

秋

Autumn



公園へおでかけ★ etc >>> P07

夏

Summer



はたらく・くらすセミナー etc >>> P06

冬

Winter



もちつき会 etc >>> P08



Pickup!!

年度末職員研修



GO TO THE NEXT

社会福祉法人 明徳会 平成29年4月2日

集合写真といっても一部ですが、、、
毎年恒例のイベントになっています。今年度のスローガンは「GO TO THE NEXT～進化しよう!～」です。
今のこのモチベーションMAXを最後まで維持しながらとことんやり遂げます!

～めいとく日和 平成29年4月2日掲載～

作業風景 (チャレンジめいとくの里B型)

Pickup!!



～いちごのへた取り～

B型ではいちごの作業を行っており、毎日300キロのいちごのへたを専用の道具で取っています(#^.^#)立ち仕事でハードですが甘い香りに包まれながらがんばっていますよ～!

～facebookより 平成29年5月2日、5月24日掲載～

～玉ねぎ収穫～

玉ねぎの収穫が始まりました! 今年は天候にも恵まれ、大ぶりの玉ねぎがたくさん採れ、みんなで「今年の玉ねぎは大きいですね!」と楽しみながら収穫を行っております。玉ねぎ収穫、ジャガイモ収穫、田植え。これから農芸は忙しくなってきますので、みんなで協力して仕事に取り組んでいきます☆





Pickup!!

はたらく・くらすセミナー（就労移行）

～就労移行支援、生活訓練での
はたらく・くらすセミナーにて～

「資生堂ライフクオリティービューティーセミナー」

外部より講師の方をお招きして、セミナーを行いました（^o^）！女性メンバーの皆さんはスキンケア、化粧のセミナーを、男性メンバーの皆さんはスキンケア、ヘアセット、ネクタイ着用について実践を通して学びました☆

～受講された方からのメッセージ～

「見た目の印象が大事になるので、さわやかにする方法を学べてよかったです。」

「ナチュラルメイクの基本的なことを学べたのでとても良い時間でした。眉の描き方にも方向があるのだと、新たな発見できました。」

「講師の方が楽しく教えて下さったので、楽しみながら受講できました。」

「社会人として好印象なイメージ作りの基本を学べ有意義な時間となりました♪♪」



～facebookより 平成29年8月12日掲載～

Pickup!!

ラストサマーフェス（きかく・プロジェクト）

今年の夏は、ご利用者様で作るイベント“ラストサマーフェス”を開催しました☆

この内容は、き・か・くプロジェクトの一つとして、イベント内容やイベント名のサブタイトルまで一からご利用者様に聞き取りを行い、決まった内容をお知らせするために、ご利用者様へ向けたポスター作りを行いました。



通所部・入所部の夏のイベントとしてディスコやカラオケ大会、ファッションショーを行いました。

～めいとく日和より 平成29年8月30日掲載～



フルーチェ作り♪ (わかばグループ)

Pickup!!

わかばグループでフルーチェ作りを行いました!!

皆さん、久しぶりのおやつ作りに朝からわくわくされていましたo(*`▽´*)o♪協力してフルーチェを作ってください…フルーツをトッピングして完成です!!!(*^▽^*)☆

皆さんとても美味しそうに食べられていました(´艸`)♡

おやつ作りの最後には、「楽しかったです!」「またしたいです!」とたくさんのお言葉をいただき、こちらも嬉しくなりました!!次回のおやつ作りもお楽しみに~!ψ(`▽´)ψ♪



~めいとく日和より 平成29年8月25日掲載~

公園へおでかけ★ (ケア・ハピネス そよかぜグループ)

ご利用者様と坪井川緑地公園へ遊びに行きました!

色々な遊具があり、とても楽しそうです。

最初は滑り台を怖がられていましたが、支援員と一緒に滑ると笑顔になられていました。

たくさん遊んだあとはジュースも飲みました!

とてもいい笑顔を見ることができたので支援員も楽しかったです♪

Pickup!!



~めいとく日和より 平成29年11月9日掲載~



阿蘇へ赤牛を食べにいこうツアー（あおぞらグループ）

本日はあおぞらグループの皆さんが待ちに待った外出の日!! 前日より外出の事を気にされる方も多くいらっしゃる中、絶好の外出日和となりました。今回は阿蘇に赤牛を食べに行こうツアーで皆さん楽しみ～

長い、旅路の中でようやく目的の場所「よかよか亭」に到着。予め、皆さんでセレクトされたメニューを思い思いの中食べられていました。因みに、メインのメニューはこちら!!「赤牛丼」美味しそうですね～お肉は皆さん大好きですね。すぐに完食されていました。その後は、近くの阿蘇神社へ行き、熊本復興祈願も含め参拝してきました。

最後は阿蘇大観峰へ行き、ジュースやソフトクリームを堪能! 寒くてもソフトクリームは絶対です(笑) 中には、大切にジュースをバスに持っておられる方も。いや～楽しい旅でしたね～車内でも笑いが耐えない赤牛ツアーでした。

今年のおおぞらグループの外出は最後で次回は年明けになります。次回も活動を頑張って楽しみを持ちながら過ごしていきましょうね。



Pickup!!



～めいとく日和より 平成29年11月16日掲載～

Pickup!!

もちつき会（行事）

12月16日（土）、毎年恒例のめいとくの里餅つき会を行いました!

ご利用者様も支援員と一緒に、餅つきに参加していただきました♪o(^▽^)o ついたお餅で鏡餅を作成し、施設内に飾っています。

ご利用者様には、小麦粉ぜんざいを味わっていただきお正月の雰囲気を感じられる一日でした!!



～めいとく日和より 平成29年12月23日掲載～



職員奮闘記 田淵支援員



チャレンジめいとの里

勤続年数：9年目 所属：生活介護 あおぞらグループ

入職して9年目を迎えました。今回は私が所属しています、担当ご利用者様 I さんのことについて書かせて頂きたいと思います。

現在あおぞらグループに所属している I さん。以前はめいとくの里をご利用になられても、なかなか活動場所に来る事が出来ず、施設内や外で自由に過ごす事が多くありました。声掛けを行っても「イヤだ」「しない」と言う返事が多く、どのような活動に興味を持って頂けるか悩みました。悩んだ中で1つの活動に参加して頂くきっかけとなりました。それは、現在あおぞらグループで取り組んでいます、「箸詰め作業」でした。箸詰め作業は、牛乳パックに使い古した割り箸を、いっぱい詰める作業です。取り組み当初、「一緒に箸詰めしましょう」等声を掛けていましたが、結果は「イヤだ」でした。そこでご家族の方にもご協力して頂き、ご自宅でも箸に興味を持って頂けるように、箸詰めセット(牛乳パックに箸、詰める際のハンマー)をお渡しし、ご自宅でも取り組む事が出来るような環境設定を行いました。ご家族、施設職員も毎日声掛けを行いました。そんな中、私が一人で箸詰め作業の準備をしている時に、声掛けを行いにきました。いつもであれば「箸詰めしましょう」と声を掛けるのですが、その時は「箸を今からするから手伝って下さい」と声を掛けました。すると、作業する場所へ一緒に行く事が出来たのです。私が作業を始め、再度「箸手伝って下さい」と言うと隣へ座られ、「箸?」と言われながら作業をされました。箸とハンマーを持って、釘を打つように「トントン」と言いながら作業に取り組む事が出来ました。終わった後、「今度からみんなで箸しよう」と声を掛けると「みんなで～、箸、トントン」と反応がありました。その日のうちにご家族にお電話し、作業が出来たことをお伝えしました。翌日からはグループご利用者様が居る場所での作業も可能となりました。今ではグループの皆さんと共に箸詰め作業に取り組まれます。

今回 I さんとの関わりの中で、何度断られても、何度もチャレンジすることで、ご利用者様はちゃんとこちらの思いを受け取って頂けると、改めて感じる事が出来ました。またご家族のご協力、声掛けで、新たな活動を見出すことが出来た事に感謝しております。この経験を活かしこれからも日々奮闘していきたいと思っております。





職員奮闘記 石山支援員



ケア・ハピネス

勤続年数：3年目 所属：生活介護 そよかぜグループ

この職業に就き3年が経とうとしています。福祉の道に進もうと思ったきっかけは高校生の頃です。当時美大を目指していたのですが偶然「アールブリュット展」というポスターが目にとまりました。興味本位で展示会に向かうと、そこは美術教育を受けていない方や障害のある方が描かれた絵や彫刻などの作品を展示した展示会でした。ぱっと目を引く色とりどりの模様や鉛筆で緻密に描いた作品などどれも美しい作品ばかりでとても感動したことをよく覚えています。そこで作品を見ている際にご家族の方が「息子の好きなことを活かして嬉しいです」と話されたことが頭から離れず、気づけば福祉系の大学のパンフレットを手にしていました。そして、もっと障害のある方とかかわりたいと思うようになりました。

入職時から勤務しているそよかぜグループは「そよかぜに当たるような心地よい気持ちで過ごしてもらいたい」という理念のもと、日々ご利用者様と体を動かし石粉粘土を使って香り玉というアロマ芳香剤の生産を行っています。現在所属する11名のご利用者様は強いこだわりを持たれた方や言葉でコミュニケーションを取ることが苦手な方がいらっしゃいます。入職当時のご利用者様の訴えが全く分からず自分本位の一方的な支援しか出来ませんでした。先輩支援員の皆さんがご利用者様にどのような声掛けをされているか、距離感はどうかなど自分なりに見て真似、実践していくうちに自然と支援することが楽しくなり、少しずつご利用者様の訴えに気が付けるようになっていきました。勿論、現在でもご利用者様の思いをきちんと受け取れず失敗してしまうことややりすぎてしまうことも沢山あります。その際は初心に戻り、声掛けのタイミングを少し待ってみたりご利用者様に寄り添ってみたりするようにしています。私ごとですが、今夏、持病の治療の為しばらく休職しました。復帰する際に一番気がかりだったことはそよかぜグループのご利用者様がまた受け入れてくださるかということでした。不安なこともありましたがご利用者様は休職前と変わらない笑顔で迎えて下さり、手を引いて来られました。これまで私は支援する仕事に就いているつもりでしたが、実際はご利用者様の笑顔に元気をいただき支えられ支援をする仕事だったのだなと気付くことができました。とても温かい環境に心から感謝しています。

今年度からは新たなグループの取り組みとして個別外出を始めました。行き先は公園や温泉、ショッピングモールやスーパーです。私個人では出来る事が限られていますが、グループ全体で思いを共有する事でできる支援の幅も広がっていくのではと思っています。今後さらにご利用者様のニーズを探り一緒に楽しみながら社会経験を積む機会を設けていきたいです。そしていつかの展示会でお会いしたご家族のように、将来そよかぜグループのご利用者様にも「好きなことが活かして嬉しい」と思っていただければ嬉しいです。





職員奮闘記 堀人支援員



ゆめくらしワークス

勤続年数：8年 所属：ゆめくらしワークス 生活訓練事業

福祉の仕事に就いて8年目を迎えました。初めは、就労移行支援で6年間勤め、今年度から生活訓練で支援をしています。就労移行支援では、「就職したい」「自分にあった職場をみつきたい」という思いをもった方に、はたらくための準備、サポートをしていきました。どういった支援がその人の力を引き出せるのか、チームで考えたり、その人の力をどこで活かせるのか、職場探しに奮闘したり、いろいろな経験をさせていただきました。初めて就職面接に同行したときには、本人さんより私の方が緊張してしまっただけでもありません。勤務して4年目の頃、就労準備を終え、就職された方の職場に巡回した際、会社の方から「〇〇さん、しっかり頑張っています。助かっていますよ。」と声をかけていただいたときには、本人さんとマッチングした会社に巡り合えたことにとっても嬉しく、これからもそういったケースを増やしていきたいと思った瞬間でした。

現在所属している生活訓練を利用されている方(以下メンバーの方)は、それぞれに目標をもっておられ、「これから自分にあった場所をみつきたい」、「働くための生活リズムを整えたい」といった思いで活動に参加されています。アットホームな生活訓練の雰囲気の中で、少しずつ通えるようになった方。人付き合いや気持ちのコントロールが苦手な方には、セミナーを通して学びの機会をつくり、徐々に自信をつけられた方。活動を通して、少しずつ自分に無理のない生活づくりができてこられます。生活訓練は2年間の有期限の事業です。その中で自分にあったステップアップを目指します。プログラムの一つに外部での社会見学、体験があります。月に一回さまざまな仕事の現場をみにいったり、企業でのお仕事体験をしたりと、自分のやりたいことを見つけるきっかけづくりとして、さまざまな発見がありました。「次は、ここにいてみたい」と新たな関心を持たれる方もいて、私も一緒にいろいろな体験ができ、またメンバーの方の意欲につながっていることを嬉しく感じたときでした。

メンバーの方には、体調の変化があり、通うことが難しい時期があったり、気持ちのコントロールがうまくできなかったりするときもあります。障がいがあってもなくても、人生のなかでいろいろな壁にあたることはあるもので、そのときにどう乗り越えるかが大切だと支援を通して思います。私ごとになりますが、現在2歳になる娘の子育てにも奮闘中で、子育ても支援と似ているなど感じることもあります。その人のこれからの道を一緒に考え、いろいろな経験をして楽しんだり、悩んだりしながら生活していくことは、支援においても同じだと思っています。メンバーの方に寄り添い、どうしたら前に進めるか一緒に考え、意思をくみ取っていく支援を日々心がけています。

今の部署には、就労移行支援と就労継続支援B型、そして生活訓練と3つのチームがあり、それぞれに特色はありますが、チームの連携でその人の可能性が広がると思います。今、私は、メンバーの方の活躍の場を見つけたり、つくっていくことができる仕事に、とてもやりがいを感じています。

私が入社して間もないころ、先輩の職員から「必要最小限の手厚い支援」という教えをいただきました。これからは、日々学びながら、メンバーの方の力を最大限に引き出す支援をすることで、その人の生活が豊かになり、気持ちよく過ごしていただけたらと思っています。





障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援
短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明徳町 707-1
Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344
c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援B型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343
meitokunosato-works@meitokukai.jp



障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明徳町 948-1
Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951
yumekurashi-orange@live.jp



地域生活支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒861-0132 熊本市北区植木町植木 163-1 植木ビル 1F
Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451
meitoku-challenge@live.jp



障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

生活介護

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3
Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399
happiness@meitokukai.jp

明徳会公式サイト

<http://www.meitokukai.jp>



明徳会フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/meitokukai>



ゆめくらしワークスフェイスブックページ

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>



めいとく日和 (職員ブログ)

<http://ameblo.jp/meitokukai>

